

## 主なご質問とご回答

2023年3月23日、第22次経営計画発表会にて頂いた主なご質問とご回答は以下の通りです。

Q1	2027年度の当期純利益（連結）目標150億円は具体的にどのように達成していく予定か
A1	10兆円に増加する預貸和の資金利益がベースとなる。 役務取引等収益も引き続き増加させていく。

Q2	新たな事業分野への進出は考えているか
A2	具体的には考えていないが、人的資本戦略で掲げたリスクリングや営業店の在り方を見直すことで、営業力を強化し企業価値向上につなげる。

Q3	米銀の破綻で名古屋銀行に直接的な影響があったか
A3	直接的な影響はない。

Q4	「静岡・名古屋アライアンス」のこれまでの成果は
A4	双方向でコミュニケーションが取れており、本音ベースでの交流を通して、お互いに視野が広がった。 昨年秋に、お客さま向け会社説明会で静岡県経済の話をしたことで、お客さまから工場の進出、協業先を見つきたい等の相談が増えた。

Q5	黒田総裁の任期期間中、低金利が続いていたが、名古屋銀行の経営戦略にどのような影響を与えたか
A5	ビジネスモデルを変えないといけないと気付く良いきっかけになり、地元のお客さまへのソリューションの拡充、事業領域の拡大につながった。

Q6	静岡銀行との資本提携はいつ頃を予定しているか
A6	株主構成やマーケットに影響を及ぼすような大きな動きは考えていない。

Q7	預貸和 10 兆円の内訳は また貸出金はどのような政策で伸ばしていくか
A7	貸出と預金ほぼ同額で伸ばしていく計画。 貸出金の増加策については、中小企業融資は今まで通り伴走型支援の継続的な実施、金融投資部を中心とした取り組みはアライアンス等も利用して強化する。 また、愛知県で好調な住宅ローンは営業体制を強化し取り組んでいる。

Q8	地域 No. 1 とはどのような定義か
A8	銀行としてシェアや残高で 1 位になるということよりも、お客さまから見て、頼りにされ、評価していただける銀行となることを目指している。

以 上